

福祉公社通信

羅針盤

ロゴデザイン：後藤章（ホームヘルプセンター武蔵野）

公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

令和3年

2月

第95号

月刊

誌面より

- 満席大盛況！ 成年後見制度市民講演会を開催
- 緊急事態宣言下でも安定した事業を継続します！
・・・1ページ
- 今月の目標は健康第一！
- 『鏡開き』
- オンライン合同勉強会開催！
・・・2ページ
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター言語聴覚士
- 心機一転！ヘルパー会議！
・・・3ページ
- おしらせ
- リレーコラム・編集後記
・・・4ページ

満席で大盛況！ 成年後見制度市民講演会を開催



<講師紹介>

弁護士 中山 二基子 氏

成年後見制度の草創期から実務に携わり、市民啓発や各自治体の指導に尽力されている成年後見の第一人者で、福祉公社特別顧問です。福祉公社は、同制度が発足して間もなくから、中山弁護士のご指導を頂いています。

1月23日、武蔵野スイングホール11階レインボーサロンにて、松上市長ご臨席のもと成年後見制度市民講演会「知って安心！成年後見の基礎知識」を開催しました。

新型コロナウイルス感染防止のため会場定員の半分（50人）に限定しての開催でしたが、雨にもかかわらず、49名もの参加があり、成年後見制度への関心の高さや期待の大きさがうかがえました。講演は、講師作成の資料により、成年後見制度をイメージしやすいよう豊富な事例を題材とし、市民目線の素朴な疑問に答える内容で、大変好評でした。「より深く知りたい」との参加者の思いが、活発な質疑応答にも表れていました。

今後も、成年後見利用支援センターは関係機関等と連携し、成年後見制度利用促進基本計画の基本目標である「生涯を通じて本人意思が尊重され安心して自分らしく暮らせるまち」づくりを目指します。

(成年後見利用支援センター 江尻)

緊急事態宣言下でも安定した事業を継続します！

理事会・評議員会オンライン併用開催

令和2年度第3回理事会（令和2年12月25日）及び第2回評議員会（令和3年1月14日）では初めてWeb会議システムを使用し、オンラインと出席の併用で開催しました。上程した議案は、社内事務手続きの簡略化、育児・介護休暇の拡充など、職員の働き方改革が主な内容で、円滑に審議がすすみ、無事に承認されました。

理事会では監事を含む9名中3名、評議員会では8名中5名がオンラインで出席しました。「コロナ禍の収束の見通しが見えないので、今後もオンライン会議を活用して欲しい」というご意見を多数いただいた一方、「会場で誰が発言しているのか分かりにくい」、「自宅では設定がしにくい」、「会

議中の接続切断等のトラブルが心配」とのご指摘もいただきました。運営課題として改善に取り組み、今後とも継続可能な経営環境の整備に努めてまいります。

(総務課 蒔田)

◆ 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年1月8日から2月7日までの期間で2回目の緊急事態宣言が発令された。期間中は、外出自粛とテレワーク推進の要請がなされたため、福祉公社では、在宅勤務や時差勤務の奨励のほか、社内の会議やミーティングでWeb会議システムを活用している。なお、緊急事態宣言は、3月7日まで延長されている。





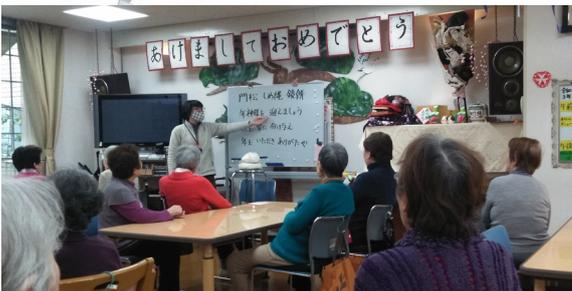
今年の目標は健康第一！

ご利用者に、「今年は静かな新年で、初詣もなく残念ですね」とお話しすると、「誰も来なくて静かでいいわ。お年玉もいらなし」と年長者ならではの返事が聞かれました。自粛生活でふさいだ気持ちを盛り上げるため、1月7日、新年会を企画しました。新年会の前半は書初めをしました。『今年の抱負』のお題に「何を書く?」とご利用者同士相談し合い、熱心に練習して、「笑顔」「健康」「お金持ちになりたい」などの年頭の願いをしたためました。後半は獅子舞いの披露です。「噛んで欲しい者はいるか!」と荒ぶる獅子が登場。どのご利用者も「噛まれると賢くなるのよ」「でもこれより賢くならないわ」と次々に獅子の一噛みをご希望、初春の笑顔がホールに広がりました。疫病退散と健康を祈願、そして気分一新の一日でした。

(高齢者総合センターデイサービス 安部)



『鏡開き』



鏡開きを1月8日に行いました。鏡開きの由来をお話した後に、職員が年神様役と家長役になり、一緒にお供え餅を割りました。オンラインでみずきっこの子どもたちも鏡餅をセンターと同時に割りました。その姿がテレビに映し出されると、ご利用者からは「可愛いわね」と一斉に声が上がりました。お年玉の語源が、「餅球・かがみだま(鏡餅を割って細かくしたもの)」とご説明すると、「初めて聞いたわ、そうだったわね!」「お金より、お餅のほうが気楽ね」と、このうんちくに感心しきりの声。お楽しみのビンゴゲームでは、開運おみくじで今年の運勢に興味津々、コロナウイルスに負けず「健康が一番」との声が大多数でした。

(北町高齢者センター 鈴木)

オンライン合同勉強会開催！

福祉公社のケアプランセンターは質の高いケアプランを提供する事業所として「特定事業所加算」を取得しています。加算の義務として、今年度から他の事業所加算を取得している事業所と合同で勉強会や研修会を開催することが必須です。先日、市内の2つの居宅介護支援事業所と、2名の権利擁護センター職員にも参加してもらい、「福祉公社権利擁護センターとの連携」についての勉強会を開催しました。直前まで集合での会を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中での集合はやはり不安を感じたため、急遽、Zoomを活用したオンライン開催へと変更しました。最初は音声に雑音が入ったり、なかなか画面が映らない等スムーズにいかない場面もあり、慣れない画面ごしでの会話に戸惑いつつも、2事業所のケアマネジャーや、私たちも次第に慣れて、1時間の会はあっという間に終了しました。

参加者からのアンケートでは「音声も画像も問題なく、オンラインでも快適だった」「感染予防になり良いのでは」「権利擁護センターの職員の話がわかりやすく、何か困ったことがあったら相談してみたい」等、の声をいただきました。初めての開催にしては上々だったかと思えます。急な変更にも関わらず、ご対応いただいた2事業所のケアマネの皆様、ありがとうございました。

(ケアプランセンター 堀田)



住宅改修・福祉用具相談支援センター 言語聴覚士



令和2年4月、住宅改修・福祉用具相談支援センター(住福相センター)の言語聴覚士相談の相談員が山口優子言語聴覚士に交代しました。

言語聴覚士(ST:スピーチセラピスト)は、嚥下やコミュニケーションに関するリハビリテーションの専門職です。住福相センターのST専門相談では、嚥下障害(飲み込みの障害)や脳卒中などの後遺症である失語症・構音障害(発音がうまくできない障害)・高次脳機能障害(記憶、注意、遂行などの障害)の評価などのご相談を承っています。

高齢社会の進展に伴い、日常的に耳にする誤嚥性肺炎は、嚥下障害が引き

起こす命に係わる病気です。その予防のための安全な食事方法などのアドバイスを行います。その他、日常生活での「話す」「聞く」「食べる」ことでお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

(住宅改修・福祉用具相談支援センター 原)

※対象：市内在住の高齢者。予約制。
住宅改修・福祉用具相談支援センター
(TEL:0422-51-1974)



心機一転！ヘルパー会議！



ヘルパー会議

ホームヘルプセンター武蔵野では、コロナ禍にあって多人数の集会の開催が困難であることから、少人数に分けてのヘルパー会議を重ねてまいりました。さらに感染が拡大していますので、1月からは研修及びヘルパー会議の開催は、すべて動画配信で行いました。

直接ケアを担うセンターにとっては、「訪問介護事業なのに、こんなに動画の編集をする日が来るとは！」と予想もしえない驚きでしたが、次第に動画編集の技術が向上し、作業を楽しく進めています。皆さんに楽しく視聴していただけるよう、工夫してまいります。1月の全体研修動画では、景品があたるプレゼント抽選会などのレクリエーション的な要素を取り入れることで、日々、ケアに励むヘルパーに日頃の感謝の気持ちを表すことができました。

(ホームヘルプセンター 後藤)



ここからお楽しみ抽選会！！

お知らせ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催や内容について変更となる場合があります。事前に担当部署へご確認ください。

老いじたく講座



- **老いじたくの基礎知識**
3月25日(木) 10:30-12:00
@高齢者総合センター4F研修室
- **成年後見制度について**
2月25日(木) 13:30-15:00 @福祉公社1F会議室
3月12日(金) 13:30-15:00 @福祉公社1F会議室

☆法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日 午後/予約制

☆法律相談(高齢者一般)

毎月第4水曜日 午後/予約制

【問合せ・申込】 権利擁護センター ☎23-1165

職員リレーコラム

虹の橋

在宅介護・地域包括支援センター 秋山 直美

昨年秋、14年間一緒に暮らした愛犬が旅立ちました。晩年は心臓病や腎臓病、眼科治療と数々の病気と闘いながら最期までよく頑張ってくれました。楽しい時も辛い時もいつも一緒だった家族との別れは思っていた以上に悲しみが大きく、落ち込む日々が続きました。

そんな中、同じく愛犬との別れを経験した友人が亡くなったペットが行く「虹の橋」の事を教えてくれました。そこは天国のちょっと手前にあり、豊富な食べ物、暖かい日の光にあふれる草地や丘で、病気も治り元気に過ごせる所だそうです。そしていつか飼い主がそこに現れた

時、飛びついて再会を喜び、一緒に天国に向けて虹の橋を渡ってくれるそうです。我が家の愛犬も自由になった体で元気に飛び回り、楽しく過ごしていると思うと安心しました。

今でも犬の散歩を見かけたりペットショップの前を通ると、愛犬の姿が目に見えればちょっと寂しい気持ちになります。でもこの話を思い出していつか再会できることを楽しみに、愛犬に見守ってもらいながらまた頑張っていこうと思っています。

今回は 権利擁護センター 米良 桃子

広報委員会

編集後記

我が家では炊飯に土鍋を使います。お手頃価格なお米も美味しく、何よりも炊飯時間が短い、慣れてしまおうともう手放せません。子どもの成長と共に土鍋も大きくなり5号炊きが毎日活躍。初代3号炊きが小さく感じます。「子どもたちもおおきくなったな〜」とご飯を食べながらしみじみと感じます。広報誌羅針盤も、もう95号、子育てと同じように、編集に心を配り成長させます。

(管理・社会活動センター 北畠)

福祉公社各部署のご案内



<ホームページ>

- 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>
- 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター <https://www.m-machigurumi.jp>
- ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

- 総務課 ☎0422-23-1165
- 権利擁護センター ☎0422-23-1165
- 成年後見利用支援センター ☎0422-27-1238
- ケアプランセンター ☎0422-23-1165
- ホームヘルプセンター武蔵野 ☎0422-23-2611
- 地域包括ケア人材育成センター ☎0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター

武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

- コミュニティケアサロン ☎0422-54-5300
- 子育てひろば・みずきっこ ☎0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター

武蔵野市緑町2-4-1

- 管理・社会活動センター ☎0422-51-1975
- 在宅介護・地域包括支援センター ☎0422-51-1974
- 住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎0422-51-1974
- デイサービスセンター ☎0422-51-2933